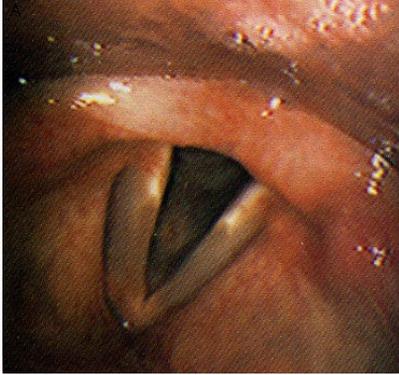


# 反回神経麻痺に対する音声改善手術について

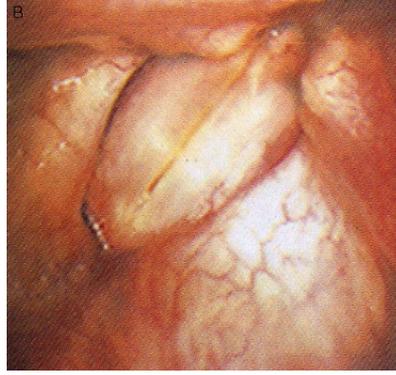
## 声帯が動かないと声が悪くなります！

ヒトは声帯（せいたい）を動かすことにより、声を出すことができます。また声帯には呼吸の通り道、食べものが気道に入るのを防ぐ役割もあります。長さ2cm程度の小さな臓器ですが、呼吸、発声、嚥下の重要な役割を担っています。声帯は反回神経（はんかいしんけい）の働きにより開閉します。

反回神経麻痺がおこると声帯の動きが悪くなり、**声がれ**、**飲み込み時のむせ**などの症状がみられ、生活に大きな支障をきたすことがあります。



声帯開大時（正常例）  
呼吸時は声帯が開きます



声帯閉鎖時（正常例）  
発声・嚥下時は声帯が閉じます

## 反回神経麻痺の主な原因

- ・脳卒中
- ・脳腫瘍
- ・肺がん
- ・食道がん
- ・甲状腺がん
- ・肺がん、食道がん、甲状腺がんなどの術後
- ・心臓手術後
- ・原因不明

当院耳鼻咽喉科では、**一側性反回神経麻痺により声が出しにくい方に対して、音声改善手術を行っています。**これは、固定した声帯を正中に牽引固定することにより、発声時の声帯間隙をなくして音声を改善する手術です。

手術を受けられた患者様には、声が出るようになった、と大変喜ばれております。この手術は麻痺発症から長期経過している方にも効果があります。



右反回神経麻痺症例  
右声帯が動かないため、発声時も声帯が閉じません。声はほとんど聞き取れないくらいの状態でした。



音声改善手術後  
右声帯が真ん中に移動して声帯が閉じるようになりました。現在は普通の声が出せるようになっています。

術後に声がれが出現し、発声にお困りの方は反回神経麻痺をおこしている可能性があります。そのような方は是非耳鼻咽喉科を受診されてください。